



新年のごあいさつ

高浜市長
吉岡 初浩

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

本市は昨年12月1日をもって、市制施行50周年を迎えることができました。改めて市の発展にご尽力いただいた皆さまに心より御礼申し上げます。

さて、50周年を記念し、キャッチフレーズ「ちようどいいまち ちよっといいまち」これまでもこれからも」とのもと、高浜市を支えてきた先人たちの想いを、これからの高浜市を創っていく世代に伝えていくため、まちの歴史の振り返りや、子どもたちの笑顔と感動を呼び起こすような、さまざまな事業を企画してまいりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、市民の皆さまの安全安心を考慮し、事業の一部を本年に延期いたしました。市民会議50に参加いただいている市民の皆さまのご協力を得て、昨年に引き続き事業を展開してまいります。

また、高浜市商工会や高浜ライオンズクラブのご協力のもと、テレビ番組「開運なんでも鑑定団」の出張収録を地域交流施設「たかぴあ」で実施する予定です。コロナ禍のため、多くの方に観覧していただくこ

とは難しいですが、テレビを通じて、全国の方に高浜市の自慢を発信できることを期待しております。

加えて、高浜市の歴史を後世に引き継ぐため、約40年振りに「高浜市誌」を発行いたします。市民の皆さまのご協力をいただきながら紡いでまいりました高浜の歴史がいよいよ実を結ぼうとしております。この取組みが、これからの高浜市の礎になると確信しております。

また、平成30年から整備してまいりました高浜小学校では、本年1月からメインアリーナ・サブアリーナの一般利用を開始します。将来を見据えて取り組んできた「学校を核とした地域コミュニティ」のモデル施設の全容をおひろめできることになりました。新しいカタチの公共施設をぜひご利用ください。

本年は市として51年目という節目のスタートとなります。新型コロナウイルス感染症など、先行きが見えないなかではありますが、これまでの50年の間に皆さまと「集い語り合う」ことで培ってきた「地域力」をもとに、新しい生活様式に沿った「新時代の地域力」を皆さまとともに創造し、たゆむことなく、今後もまちづくりに尽力してまいりますので、より一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

おわりに、コロナ禍が一日も早く終息し、50周年テーマソングにもある「ハッピースマイル」で過ごせる一年になりますことを祈念し、新年のごあいさついたします。